



2025年12月29日

りそなアセットマネジメント株式会社

Finance for Biodiversity (FfB) Foundation 『Nature Target Setting Leadership Award』の受賞について

りそなアセットマネジメント株式会社(代表取締役社長 西山 明宏、以下「当社」)は、この度、当社が参画する Finance for Biodiversity (FfB) Foundationにおいて『Nature Target Setting Leadership Award』を受賞しました。

この賞は、FfB Foundation のメンバーによる FfB Pledge 達成に向けた取り組みの進捗を評価する「FfB Members Progress Awards 2025」の部門賞の1つです。このアワードは、「目標設定」のほか、「協働と知識共有」や「投資先企業等へのスチュワードシップとエンゲージメント」等、6分野における優良事例を顕彰することを目的としています。

当社が受賞した『Nature Target Setting Leadership Award』は、TNFD¹および GBF の目標²に沿った測定可能な生物多様性目標の設定と公開における卓越性を特に表彰するものです。自然関連の重要なセクターについて目標を設定・公開し、進捗を年次で報告する透明性の高い取り組み等³が高く評価され、今回の受賞に至りました。

このアワードは今回初開催され、2025年12月4日にアムステルダムで開催された第1回 FfB サミットにて授賞式が行われました(<https://www.linkedin.com/feed/update/urn:li:activity:7402415604709613568>)。初開催となるこのアワードでの受賞は、当社の自然資本への取り組みが国際的に高く評価された証であり、責任投資活動を一層強化する重要な契機と考えております。

当社は今後も、責任ある長期投資家として、投資先企業をはじめとする幅広いステークホルダーの皆さまと真摯に向き合い、実効性の高い活動を実践することで、投資先企業の企業価値、ひいては、お客さまからお預かりした資産の全体価値の向上に取り組んでまいります。また、「自然資本・生物多様性の損失」をはじめとするサステナビリティ課題の解決を通じ、将来にわたりよりよい社会・環境を実現するため、ステークホルダーの皆さまと協働し、粘り強く取り組んでまいります。こうした粘り強い取り組みの先に、当社のパーカスである「将来世代に対しても豊かさ、幸せを提供」の実現があると考えています。

¹ 国連環境計画金融イニシアティブ(UNEP FI)、国連開発計画(UNDP)、Global Canopy、および世界自然保護基金(WWF)により 2021 年 6 月に発足された、自然関連財務情報を開示するフレームワークの開発・提供を行う国際イニシアティブ。

² 2030 年までに生物多様性損失を食い止め、自然と調和した社会を目指すこと。

³ 詳細は当社「Climate/Nature-related Financial Disclosure Report」をご参照(<https://www.resona-am.co.jp/sustainability/>)。

FfB Foundation:

- ・ 2021 年に設立された独立した非営利組織で、世界約 200 の金融機関が参加する「FfB Pledge」(後述)を推進しています。
- ・ FfB Foundation には約 90 機関が参画しており、これら機関は FfB ワーキンググループにおいて積極的にピア・ラーニングと協働に取り組み、金融セクター企業が自然を戦略、投資、ESG 方針に統合するためのガイダンスやフレームワーク(インパクト評価、目標設定、企業とのエンゲージメントを含む)を継続的に構築しています。また、世界のリーダーに対し、この 10 年で生物多様性の損失を食い止め、回復させるための断固たる行動を取るよう働きかけています。
- ・ FfB Foundation は、金融機関が自然の損失に対応し、ポジティブなインパクトを生み出す上で重要かつ独自の役割を果たしています。また、自然を価値あるものとして重んじ保護する金融システムを形成しています。

FfB Pledge:

- ・ ファイナンスを通じた生物多様性の保護・回復を約束した金融機関によるイニシアティブです。
- ・ 29 か国から 200 機関が参加し、合計運用資産は 23 兆ユーロを超えます。

以上